

2009年3月期 第2四半期決算説明会

2008年11月11日

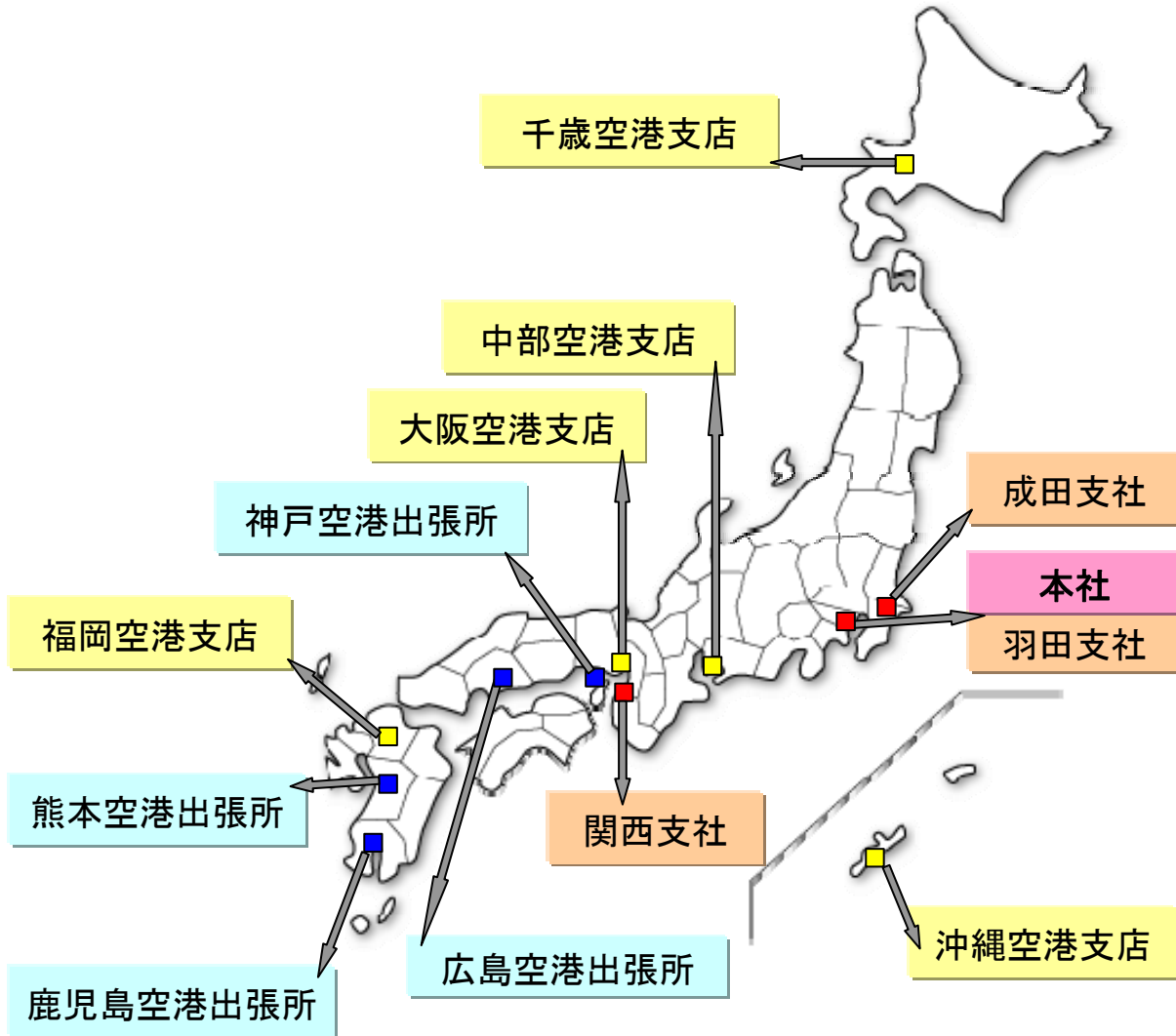
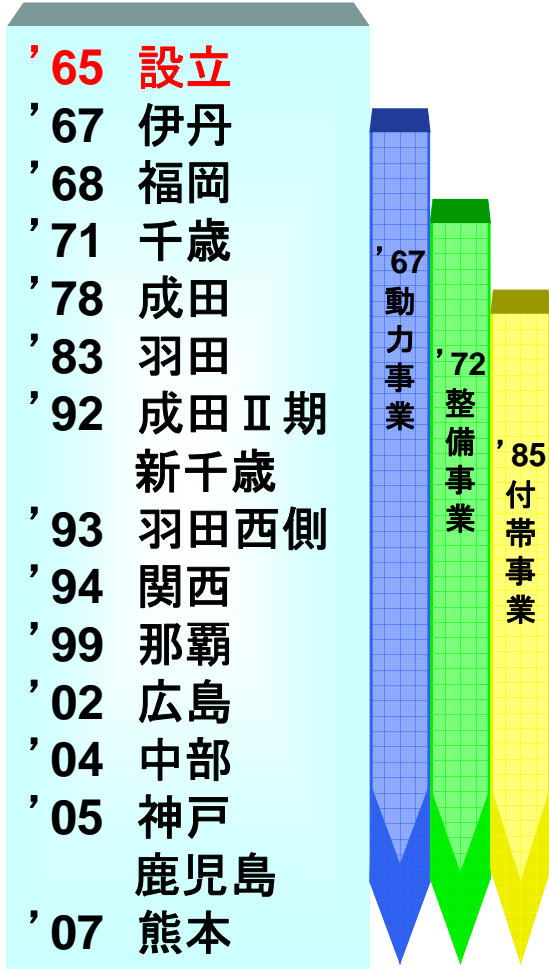


株式会社 エージーピー
AGP CORPORATION

目 次

- 当社事業の概要
- 2009年3月期 第2四半期活動概要(連結)
 - ・業績の推移(当期計画)
 - ・各事業の概況と今後の取り組み
- 第2四半期業績報告(連結)
 - ・業績の概要
 - ・通期業績見通し

当社発展の軌跡



当社の事業概要

動力事業



GPU(電力供)



ACU(エアコン供給)

整備事業



手荷物搬送設備(BHS)



旅客搭乗橋設備(PBB)

付帯事

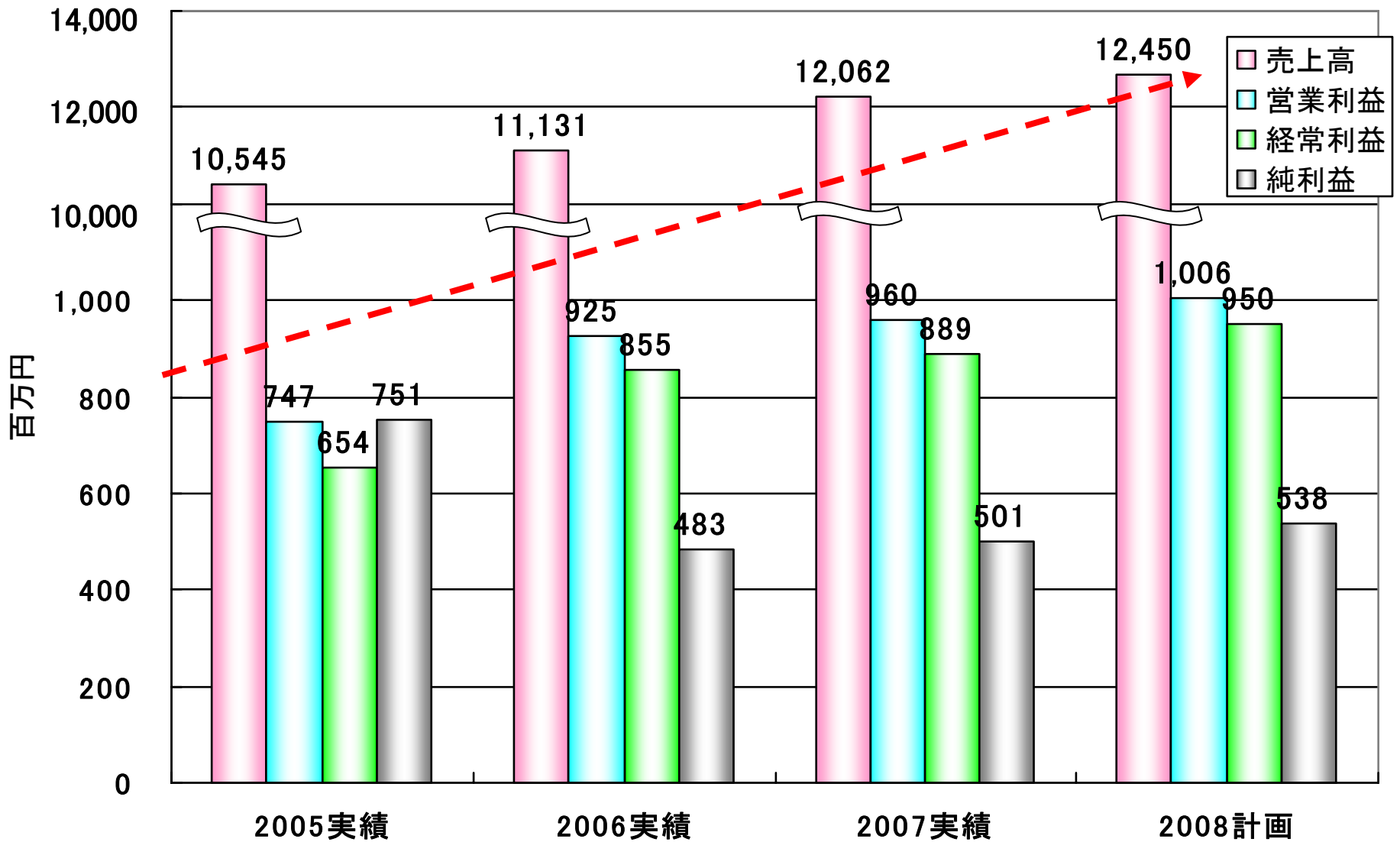


(当社製)保冷・加熱カート



(他社製)温冷配膳車

業績の推移(連結)



動力事業の概況と今後の取り組み

- ・原油価格の高騰
- ・環境意識の向上
(エコエアポート化の推進)
- ・空港整備計画の進展

追い風

環境への貢献
収益拡大

しかしながら、
路線廃止・減便の
影響が懸念

2009年 2月	長崎空港 4スポット展開
2010年 3月	成田空港平行滑走路 2,500m化
2010年10月	羽田空港第4滑走路供用開始 羽田空港新国際線ターミナルビル供用開始

今後の課題

新型航空機(A380、787)への設備対応と計画的な更新投資

整備事業の概況と今後の取り組み

手荷物搬送設備の増強工事(インライン化)による業務増があるものの、設備の更新工事の減少や先送りが顕著

客先の経費縮減
収益の減少・横這い

2009年12月 千歳空港 新国際線旅客ターミナルビルの供用開始

2010年 4月 関西空港 国内線の手荷物搬送設備インラインシステム供用開始

2010年10月 羽田空港 新国際線旅客ターミナルビルの供用開始

新国際線貨物ターミナルビルの供用開始

今後の課題・取り組み

- 特殊設備管理業務で培った経験と技術を活かした積極的な提案型営業
- 24時間勤務体制の構築ができる強みを活かした受託業務拡大
- 物流設備メーカーとの連携強化した空港内外施設の受託拡大

付帯事業の概況と今後の取り組み

- ・フードカート販売の出遅れ
- ・航空機支援機器購入の先送り

その他
付帯収入で下支え

フードカートの概況

- ①国の法制度改定の影響を受け、病院・介護施設は苦しい経営状況となり、設備投資活力が縮小。
- ②クックサーブ(温冷配膳車)からクックチル(当社の再加熱カート)への移行遅れと、期待している買い替え需要が先送り。

フードカート新商品の開発

長期的な売上の拡大を目指すため、顧客の要望を捉えた新商品の開発を行い、魅力ある商品を投入する

通期の業績動向

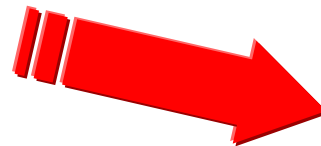
動力事業



整備事業



付帯事業



全体では、
期初計画達成を見込む。

2009年3月期 第2四半期業績報告

2009年3月期 第2四半期累計業績

(単位:百万円)

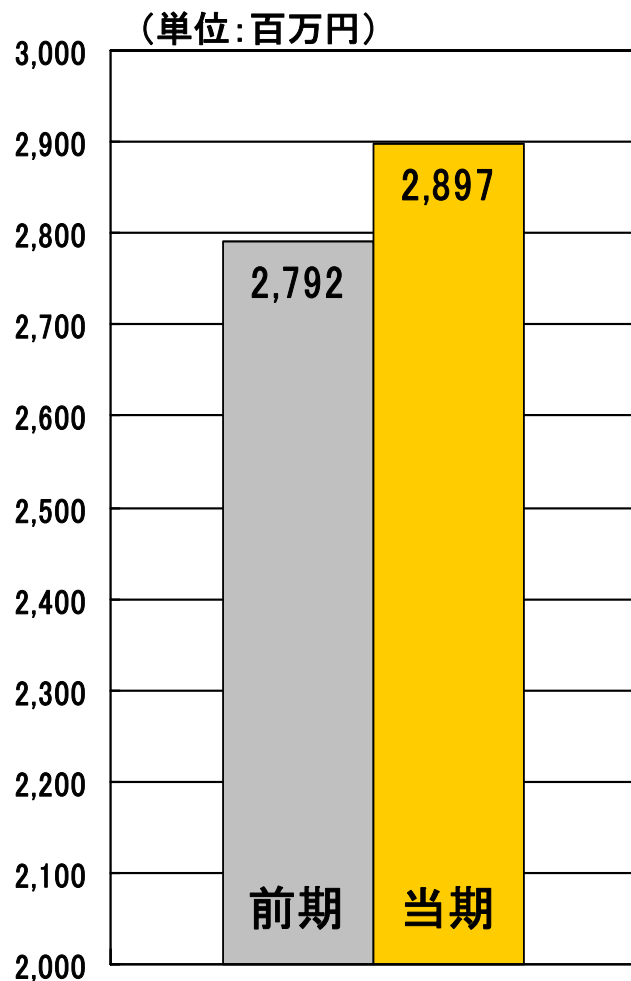
	前期実績	当期実績	対前期比 増減	
売上高	5,507	5,646	139	102.5%
売上総利益	703	746	43	106.2%
販管費	410	449	39	
営業利益	292	296	4	101.5%
営業外損益	▲36	▲20	15	
経常利益	256	276	20	107.9%
特別損益	▲2	▲5	△2	
税引前四半期純利益	253	270	17	
四半期純利益	136	154	17	113.0%

(注)百万円未満は切り捨てにより表示

売上高 ① 動力事業

2,897百万円

前期比 105 (103.8%)



<主な増減要因>

- ① 国内社のGPU使用徹底による増
- ② 成田・関西空港での外国社使用増
- ③ 小型化による影響

<支店別>

羽田 +46
那覇 +29
関西 +20
成田 △21

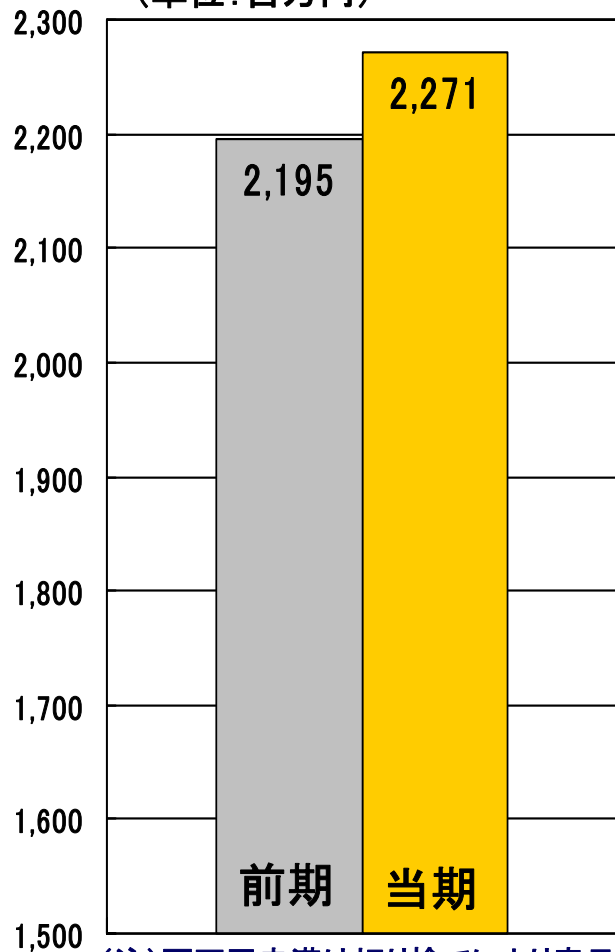
(注)百万円未満は切り捨てにより表示

売上高 ② 整備事業

2,271百万円

前期比 76 (103.5%)

(単位:百万円)



(注)百万円未満は切り捨てにより表示

<主な増減要因>

(増加)

関西 +76

BHS基本契約の増

設備の更新・補修工事の増

成田 +22

設備の更新・補修工事の増

(減少)

沖縄 △17

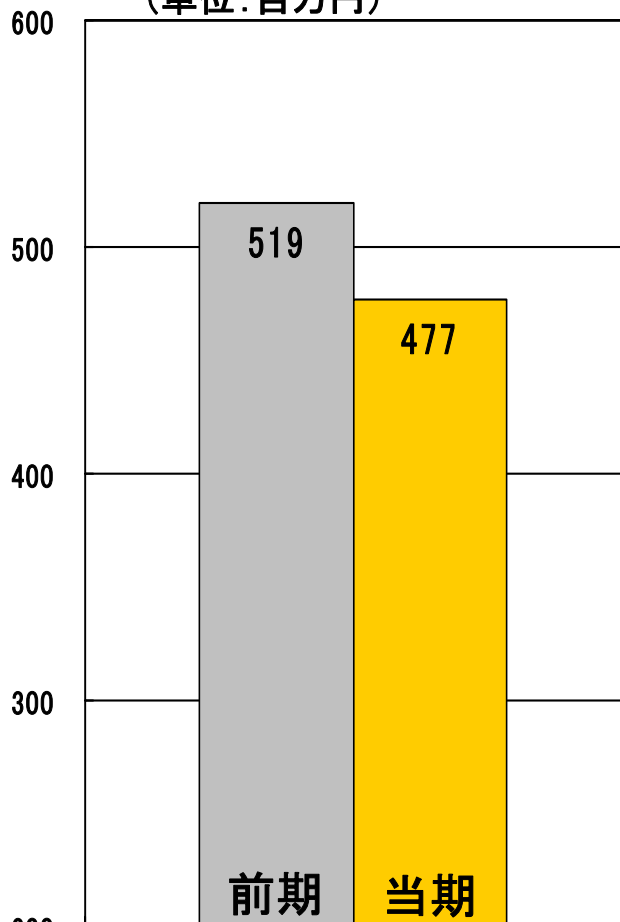
ホテル保守契約の減

売上高 ③ 付帯事業

477百万円

前期比 $\Delta 41$ (91.9%)

(単位:百万円)



(注)百万円未満は切り捨てにより表示

<主な増減要因>

(増加)

成田 +104

受託手荷物検査装置

運用管理業務の新規受託

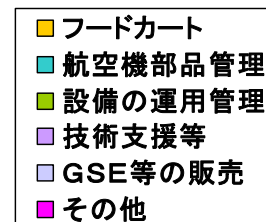
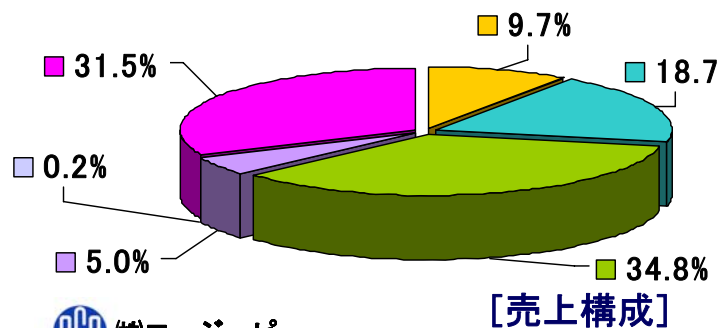
(減少)

本社 $\Delta 130$

航空機用電源装置の販売減

$\Delta 13$

フードカートの販売減

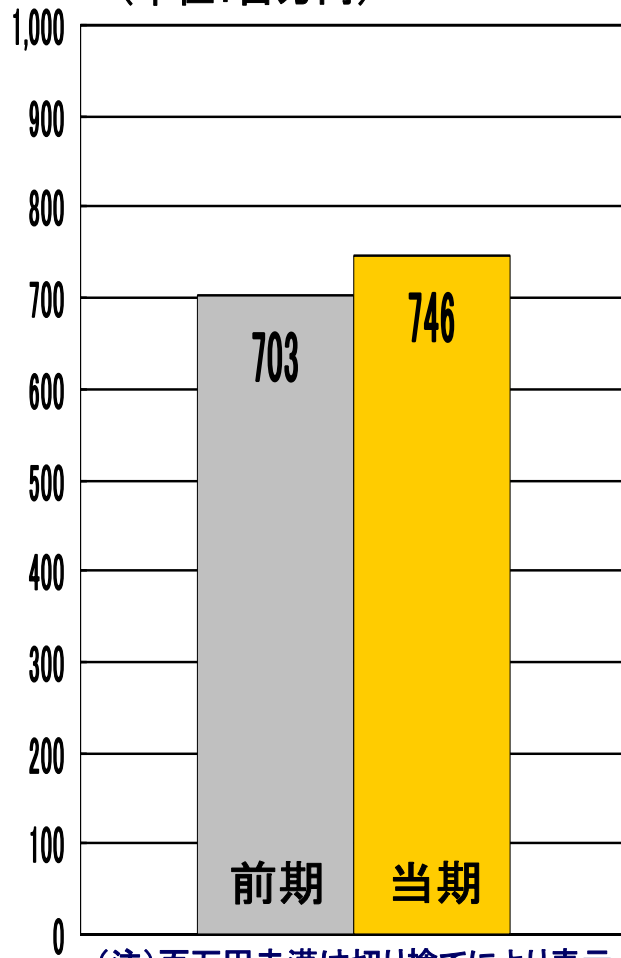


売上総利益

746百万円

前期比 43 (106.2%)

(単位:百万円)



(注)百万円未満は切り捨てにより表示

<セグメント別 主な増減要因>

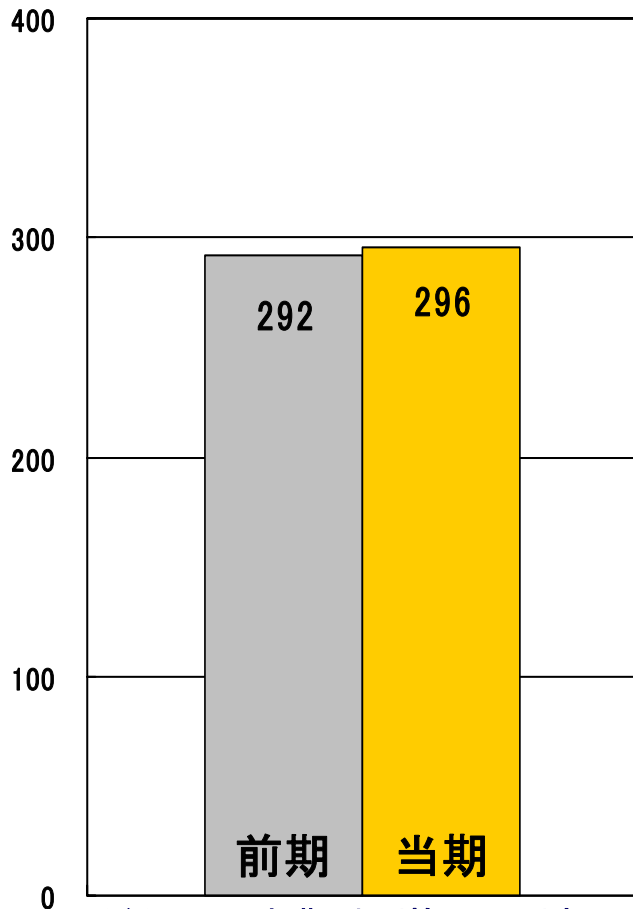
動力事業	+47	・原材料費の増	+54
整備事業	△13	・労務費・委託役務費の増	+63
		・販売材料・外注費の増	+26
付帯事業	+9	・販売材料・外注費の減	△118
		・労務費・委託役務費の増	+54

営業利益

296百万円

前期比 4 (101.5%)

(単位:百万円)



(注)百万円未満は切り捨てにより表示

<主な増減要因>

売上総利益の増 +43

労務費の増等による
販売費及び一般管理費の増 +39

経常利益／四半期純利益

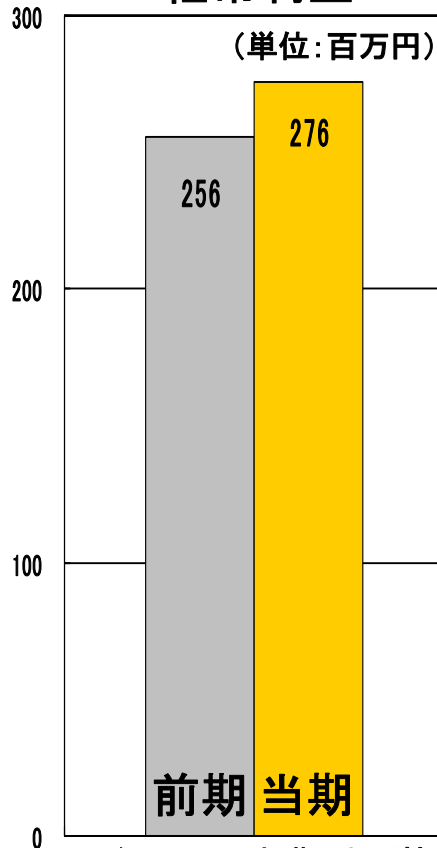
経常利益

276 百万円 前期比 20

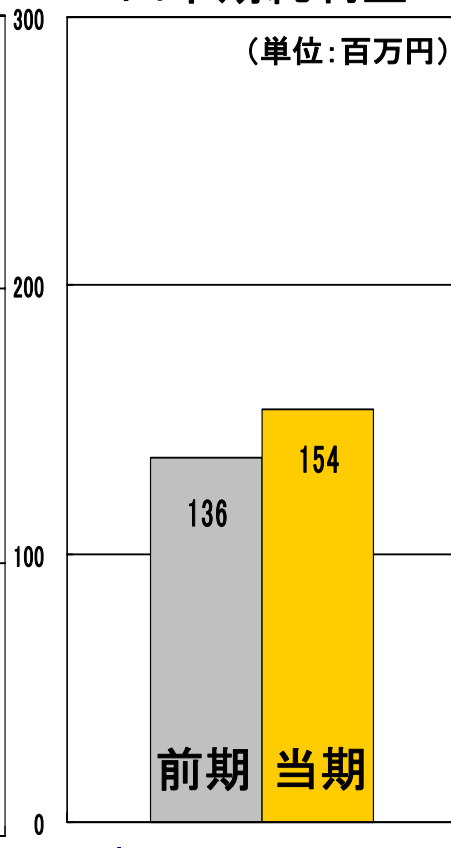
四半期純利益

154 百万円 前期比 17

経常利益



四半期純利益



(注)百万円未満は切り捨てにより表示

<経常利益の増要因>

営業利益の増 +4

営業外収益(受取保険金)の増 +3

営業外費用(支払利息)の減 Δ 11

<四半期純利益の増要因>

経常利益の増 +20

特別損失(固定資産除却損)の増 +2

2009年3月期 第2四半期累計業績(計画対比)

(単位:百万円)

	当期計画	当期実績	増 減	
			増減額	増減率
売上高	5,809	5,646	△162	97.2%
営業利益	284	296	12	104.4%
経常利益	258	276	17	106.9%
四半期純利益	146	154	7	105.2%

(注)百万円未満は切り捨てにより表示

キャッシュフローの状況

(単位:百万円)

	前 期	当 期	
		金 額	主な増減理由
営業活動によるCF	625	457	・減価償却費の増 403
投資活動によるCF	△898	△278	・有形固定資産の 取得による支出 △300
財務活動によるCF	△627	△590	・長期借入金の 返済による支出 △465
現金及び現金同等物 の増減額(△は減少)	△901	△412	
現金及び現金同等物 の四半期末残高	1, 888	1, 554	

(注)百万円未満は切り捨てにより表示

2009年3月期 通期業績見通し

2009年3月期 売上高（見通し）

（単位：百万円）

セグメント	期初予想	下期の動向
動力事業	5,641	・路線廃止・減便の影響が懸念されるものの、GPU利用促進の動きは堅調
整備事業	5,425	・顧客の経費節減施策による設備の更新工事等の先送りの動きあり
付帯事業	1,384	・フードカート販売は見込みどおりを予想するが、顧客の航空機地上支援機器購入先送りがあり厳しい環境で推移
合 計	12,450	全体として期初予想の変更なし

（注）百万円未満は切り捨てにより表示

2009年3月期 通期業績予想

(単位:百万円)

	前期実績	当期予想	対前期比 増 減
売上高	12,062	12,450	388
営業利益	960	1,006	45
経常利益	889	950	61
当期純利益	501	537	36

(注)百万円未満は切り捨てにより表示

平成20年5月8日に発表した、業績予想の変更なし

本日は、弊社決算説明会にご参加いただき
ましてありがとうございます。

本日配布いたしました資料に記載されている
将来の業績予想は、経営環境の変化などに
伴い予想あるいは目標対比が変化し得ることに
ご留意ください。

お問合せ先

株式会社エージーピー 総務部 広報・IRグループ

電話:03-3747-1631

FAX:03-3747-0707

URL: <http://www.agppgroup.co.jp>

(会社案内ビデオがご覧いただけます)

